



## 北区立中央公園文化センター

施工地／東京都北区十条台1-2-1  
 敷地面積／79,243.30m<sup>2</sup>  
 竣工年月／平成26年3月  
 延床面積／2,990.79m<sup>2</sup>  
 構造／鉄筋コンクリート造  
 地上3階・地下1階

## 昭和の歴史と共に歩み

みどり豊かな自然に囲まれる北区立中央公園文化センターは、戦前の陸軍東京第一造兵廠(兵器工場)の本部として昭和5年に建てられた施設です。戦後、造兵廠の一部は米軍に接収され、この施設も米軍施設として使用されてきましたが、昭和46年、北区をあげての返還運動と、多くの方々の尽力により北区へ返還されました。半世紀にわたり戦争と平和を見つめ続けてきた白亜の建物は、昭和56年に北区立中央公園文化センターとして生まれ変わり、区民の文化活動・生涯学習の場としてその役割を果たしております。

近年になり老朽化や設備の更新、耐震補強工事の必要性から平成25年度に改修事業をおこない本年4月にリニューアルオープンいたしました。



第一視聴覚室



会議室



グループ室

## 新たな交流・文化創造の広場

建設から83年が経ち日本国内でも歴史があり、長年北区民に親しまれてきた北区立中央公園文化センターの改修事業は、外観を変更することなく施設の安全性と施設利用者の利便性の向上を目的に計画をおこないました。

内部は乳幼児連れの方への配慮として赤ちゃん休けい室やピットレスエレベータを新設し、随所に手摺を設けるなどユニバーサルデザインに基づく利用者にやさしい施設を構築しました。耐震性能の向上としては内部に耐震壁や鉄骨ブレースを新設する工法を採用し、外観を変えずに耐震性能を高め、施設の安全性を確保いたしました。



赤ちゃん休けい室

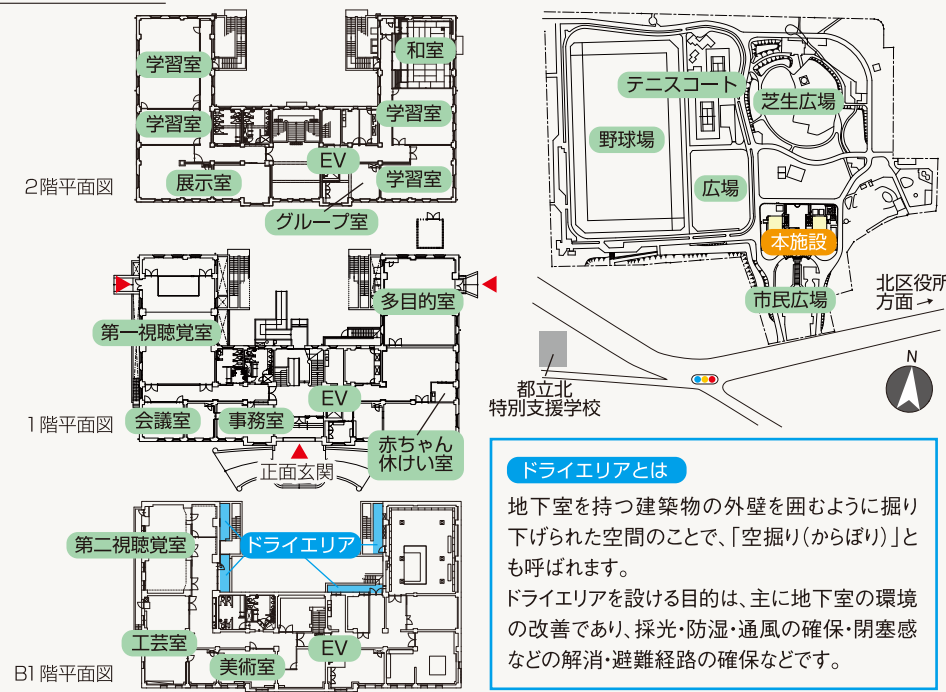


新設エレベータと手摺



和室

### 平面図・配置図



### ドライエリアとは

地下室を持つ建築物の外壁を囲むように掘り下げられた空間のことで、「空掘り(からぼり)」とも呼ばれます。

ドライエリアを設ける目的は、主に地下室の環境の改善であり、採光・防湿・通風の確保・閉塞感などの解消・避難経路の確保などです。